

入所申込者氏名 様

1. 本人の状況 点 総合点 (←施設記載用欄)

要介護度	5	4	3	2	1
------	---	---	---	---	---

認知症による不適応行動	非常に多い (毎日)	やや多い (週1~2回)	少しあり (月1~2回)	なし
-------------	---------------	-----------------	-----------------	----

(該当箇所には○をつけて下さい。)

- ・夜間不眠や昼夜逆転している
- ・1人で外に出たがり、目が離せない
- ・火の始末や火元の管理ができない
- ・ろう便行為等の不潔行為がある
- ・異食行為がある
- ・介護に対し、身体的な抵抗がひどい
- ・暴言や暴力がある
- ・介護者が精神的に疲労するような作話をする
- ・その他 ()

日常生活動作	
食事	
排泄	
入浴	
移乗・移動	

2. 在宅サービスの利用度 点

在宅サービスの利用限度額割合	60%以上	50%以上	30%以上	30%未満
----------------	-------	-------	-------	-------

3. 主たる介護者の状況 点

①世帯の状況	独居世帯	高齢者のみ世帯	その他 ()
※世帯の家族構成			
②主たる介護者	介護者名 様 歳 (続柄)		
③介護者の障害・疾病	なし	あり () 介護は困難・多少は介護できる・介護は可能	
④介護者の就労	なし	あり (日/1週 時間/1日)	
⑤介護者の育児・家族の病気 (利用対象者本人以外)	なし	あり () 時間の程度は 常時・半日程度・時々	
⑥他の同居介護補助者	なし	あり (続柄) 補助の程度は 常時あり・随時あり・殆どなし	
⑦別居血縁者の介護協力	なし	あり (続柄) 補助の程度は 常時あり・随時あり・殆どなし	

※現在、長期入所している場合 (老健・療養型等) は施設名→【 】

(短期入所で利用の場合は記載不要)

作成者所属		記入者	(印)
-------	--	-----	-----

※記入に際しては裏面を参考にして下さい。

【評価基準算定にあたっての留意事項】

1. 「認知症による不適応行動」

認定調査における行動に関連する項目について、

- ・夜間不眠や昼夜逆転している
- ・1人で外に出たがり、目が離せない
- ・火の始末や火元の管理ができない
- ・ろう便行為等の不潔行為がある
- ・異食行為がある
- ・介護に対し、身体的な抵抗がひどい
- ・暴言や暴力がある
- ・介護者が精神的に疲労するような作話をする
- ・その他（ ）

に関する項目で「ある」または「ときどきある」が1つ以上ある場合で、

- 「非常に多い」…………… 毎日ある場合
- 「やや多い」…………… 週に1～2回以上ある場合
- 「少しあり」…………… 月に1～2回程度ある場合

を目安とする。

※日常生活動作（食事、排泄、入浴、移動）も記入して下さい。

2. 「在宅サービスの利用度」

サービス利用票別表に基づく支給限度基準額に対するサービス利用額の割合をいう。

（サービス利用単位数／区分支給限度基準額単位数×100）

算定の期間については概ね3ヶ月を基準とし、平均利用割合により判断する。

算定の対象となるサービスは、次のとおりとする。

- 「訪問介護」、「訪問入浴介護」、「訪問看護」、「訪問リハビリテーション」、「通所介護」
- 「通所リハビリテーション」、「短期入所生活介護」、「短期入所療養介護」、「福祉用具貸与」

施設入所の方は、在宅に帰った状態を勘案して区分にチェックする。

（施設入所中の上限30%は廃止しました。）

3. 「③介護者の障害・疾病」

※主たる介護者、世帯の家族構成（ジェノグラム）等も記入して下さい。

- 「介護は困難」…………… 介護者が障害や疾病のため、要介護者の排泄、入浴、移動、着替え、食事などのADL全般の援助が困難な場合
 - 「多少は介護できる」…………… 介護者が障害や疾病のため、概ね2つ程度のADL援助ならできる場合
 - 「介護は可能」…………… 介護者に障害や疾病があるがADL全般の援助・介護が可能な場合
- を目安とする。

4. 「⑥他の同居介護補助者/⑦別居血縁者の介護協力」

- 「常時あり」…………… 週4日以上
- 「随時あり」…………… 週1～3日程度
- 「殆どなし」…………… 上記以外の場合

※1日あたりの介護に携わる時間の目安は、2時間程度または頻回以上とする。